

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			31
	客観性	思考的思慮深い			55
活動型	身体性	機敏な・気軽な			71
	気分性	感情のまま行動			59
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			59
	規則性	常識的・順法的			48
積極型	競争性	勝気な・積極的			61
	自尊心	気ぐらいが高い			50
自制型	慎重性	見通しをつける			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮			59

どんな性格なのかを分析

「活動・身体性」および「積極・競争性」であるが、「活動・気分性」や「慎重性」も持っている。

のパーソナリティスケッチ

抵抗なくついていくことができる。受身ならず積極的に体を動かして、物事を解決していくことができるが、もう少し慎重な計画性とチェック機能が欲しいところである。また、気分が周旋性があり、調子に乗れば何事も早い、気分が乗らないと何もしないという面がある。人間的には温かく、世話好きな面がみられ、周囲からは頼まれる。気に入った相手や物事に対しては、思惑や世間の常識にとらわれず、良いと思ったことを素直に実行する傾向がある。また、目立ちたがりやであり、勝気な性格であるために、競争する環境などの条件がそろった以上の力を発揮することができる。そして、困難に遭遇したときは他にも働きかけ、外にうってでる。やや、他罰的傾向がみられるが、独善的に自分だけが偉いといった思いがりは少なく、他人との協調性もあり気遣いはみられる。自己主張が強く、ときに対人関係でギクシャクすることもあるが、人あたりの良さで局地的には回避することができる。

●もう一方の性格特性

内向的でなく、外向的な人である。関心が対社会にあり、自分の殻に閉じこもり、孤独に生きていくというタイプではなく、職場の雰囲気にも馴染み、気遣いのできる人。ただ、夢のような世界、美の鑑賞や創造の世界に、ひとり芸術的に生きるというサビの部分欠ける。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

興味の方向性	弱	強	指数
日常周辺事型			47
客観・科学型			47
社会・経済型			34
心理・情緒型			52
審美・芸術型			58

世の中の動きなどに興味がなく、世間知らずな面もある。

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数
積極性			64
協調性			65
責任感			55
自己信頼性			53
指導性			56
共感性			63
感情安定性			45
従順性			43
自主性			54
モティベーション傾向			57

職場でどんな行動をとるかを分析

環境内の仲間と同じ立場になり、物事を考えようとする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数
達成 欲求			68
自律 欲求			52
求知 欲求			66
危機 耐性			68
勤労 意欲			72
顕示 欲求			63
支配 欲求			60
親和 欲求			54
秩序 欲求			50
物質的欲望			54

モチベーションを分析

系統の欲求群が一番強く、系統の欲求群となっている。統の欲求群には淡泊な反応である。